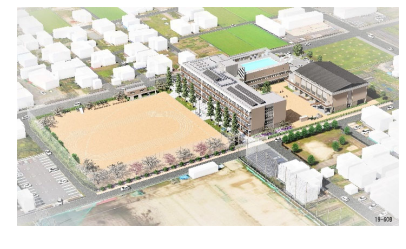


# CASBEE®-建築(新築) 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.1)

| 1-1 建物概要 |                       | 1-2 外観 |                 |
|----------|-----------------------|--------|-----------------|
| 建物名称     | 西都地区新設小学校校舎棟新築工       | 階数     | 地上4F            |
| 建設地      | 福岡県福岡市西区大字徳永1128.6    | 構造     | RC造             |
| 用途地域     | 市街化調整区域、指定なし          | 平均居住人員 | 900 人           |
| 地域区分     | 7地域                   | 年間使用時間 | 2,000 時間/年(想定値) |
| 建物用途     | 学校,                   | 評価の段階  | 実施設計段階評価        |
| 竣工年      | 2023年1月 予定            | 評価の実施日 | 2021/1/15日      |
| 敷地面積     | 16,945 m <sup>2</sup> | 作成者    | 石橋光男            |
| 建築面積     | 4,016 m <sup>2</sup>  | 確認日    | 2021年1月20日      |
| 延床面積     | 10,185 m <sup>2</sup> | 確認者    | 石橋光男            |



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.9** ★★★★★☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値: 100% (kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

②建築物の取組み: 86%

③上記+②以外の: 86%

④上記+: 86%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです。

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 3.5**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.4

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.5

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.5

### LR 環境負荷低減性

**LR のスコア = 3.6**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.1

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.5

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

| 3 設計上の配慮事項   |   |   |
|--------------|---|---|
| 総合           | 環境への配慮を詰め込んだアクティブ・パッシブ両面からなる学習環境を実現、校舎そのものが環境学習の教材となることを目指した。             | その他<br>0  |
| Q1 室内環境      | 中廊下型の教室のため、廊下の両側の教室の壁面をできるだけ透透性の高い材料で作り、中廊下が暗い空間にならない様配慮、電気使用量削減を目指した。    | Q3 室外環境(敷地内)<br>浸透性の舗装材による地表面温度の抑制、芝舗装等による景観性の向上。           |
| LR1 エネルギー    | 日射の制御や自然通風を可能にする庇の設置等によるパッシブ技術の利用。太陽光発電・クールピットによるアクティブ技術の活用。              | LR3 敷地外環境<br>コンパクトに建物をつくることで近接する周辺民家等へのインパクトを最低限に抑えるよう配慮した。 |
| Q2 サービス性能    | コンパクトに動線を整理、延床面積を削減するとともに適所にメンテナンス用のピットやシャフト、点検口を設置、永年にわたる低ランニングが可能な配慮行う。 |   |
| LR2 資源・マテリアル | 建築素材にリサイクル材料を使用(再生木デッキ等)や、節水に配慮した設計がなされている。                               |   |

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される